

2018年12月20日 第260号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

辺野古新基地建設はやめろ!

総がかり行動「19日行動」に2800人

来年は安倍政権を退陣させ、 9条改憲を断念、政治を変える年にしよう!

安倍政権は12月14日に辺野古への土砂投入を強行し、10日に閉会した臨時国会では次々と悪法を強行成立させました。こうしたことに対する国民の怒りは高まっています。総がかり行動実行委員会と安倍9条改憲NO!全国市民アクションは19日夜、定例の「19日行動」を国会議員会館前で行い、2800人が参加しました。国民の声を無視する安倍政権への怒りの発言が相次ぎ、来年は「安倍政権を退陣に追い込み、憲法9条改憲を断念させる年にしよう」と、決意を確認しあう集会となりました。社民党・福島みずほ参議院議員、日本共産党・山下芳生参議院議員、国民民主党・小宮山泰子衆議院議員、立憲民主党・山川百合子衆議院議員があいさつしました。



総がかり行動実行委員会共同代表の小田川義和さん(全労連議長)が主催者あいさつ。「この1年は、9条改憲阻止のため300万人署名で対話と宣伝を強め、立憲野党との共同の力で改憲案の提示をさせなかった。このことに確信を持ち、来年は政治を変える年にしよう」と訴えました。辺野古新基

地建設については沖縄と連帯したたかうことで押し返すことは可能であることを強調。「防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」が閣議決定されたことにふれ「5年間で27兆円を超す武器を買うための予算が計上され、その一方で社会保障費や教育費が圧縮されている。軍拡を許さず、平和

と憲法を守るたたかいを大きくしよう」と呼びかけました。

沖縄一坪反戦地主会関東ブロックの木村辰彦さんは「辺野古への土砂投入を許すことはできない。力づくの基地建設、民意を足蹴にすることは許さない」と怒りの発言。改憲問題対策法律家6団体連絡会の南典男さんは「臨時国会で改憲案提示を許さなかったが安倍首相はあきらめていない。改憲暴走シフトで臨んでいる。9条改憲は日本を軍事国家にする大改悪。多くの市民に知らせる必要がある」と強調しました。品川総がかり実行委員会の北村純一さんは「3000万人署名のハガキを3万枚作成し60人以上で手分してポスティング。また、ミニパンフを作成し成人式で配布している。一人ひとりがすぐに訴えられるように『スピーチとらの巻』を作成、ピースウォークなども検討している」と、取り組みを紹介しました。

総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんが以下の行動を提起。「市民と野党が結束して安倍政権を倒す、9条改憲阻止、辺野古新基地建設阻止など来年を勝利の年にしよう」と呼びかけました。

★今後の取り組み★

総がかり行動実行委員会「19日行動」

1月19日(土) 14時～ 国会議員会館前

2月19日(火) 18時30分～ 国会正門前 ***憲法共同センターは南庭**

→普天間飛行場の5年以内の運用停止期限が切れる2019年2月19日。県民投票の投票日直前でもあることから「普天間基地閉鎖、政府は約束を守れ!辺野古新基地建設反対」を中心課題にすえます。

総がかり行動実行委員会 国会開会日行動

1月28日(月)予定 12時～ 国会議員会館前

5・3憲法集会

中央集会は有明防災公園で開催予定。12月4日に実行委員会がスタート。最大規模の結集を追求する。